

登録コード	HM102800	開講年度	2026			
授業題目	人体構造学特別研究				担当教員	福島 菜奈恵 他
英文授業名	Research Thesis in Anatomy				副担当	工 穰
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				実験の基本的手技を修得するとともに、実際の研究における課題に対し、その解決方法を考え実践できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	研究を行う際に必要となる基礎的手技や研究手法を実際に学ぶとともに、その手法を用いた研究について理解し、研究を実践する能力を身につけることを目的とする。					
(3)授業の概要 /Overview of course	脳および神経の研究において、動物実験に必要な基礎的研究手法（脳定位装置を使用した薬物や神経トレーサーの注入方法・脳および神経の損傷方法・脳および神経の形態学的な解析方法）の実践および指導を行うとともに、実践した内容について論文指導を行う。					
(4)授業計画 /Course plan	(福島菜奈恵) 運動神経系および感覚神経系の損傷と機能・再生に関して、研究の実践および指導を行い、研究課題について論文指導を行う。 (工穰) 基礎的研究および臨床的研究の両面からアプローチしながら、聴覚機能に関する研究指導を行う。					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	成績評価の方法 演習中の態度および作成論文で評価する。 成績評価の基準 (i) 全体の記述が論理的であり、(ii) 目的・背景・方法について適切に説明できており、(iii) 結果に対する考察が適切であり、(iv) どのような課題があるのかを指摘できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から(v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」、4項目までできていれば「やや上にある（良）」、3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	課題に真摯に取り組む姿勢を学ぶこと。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	演習中に直接質問してください。					
(8)授業の形式 /Course format	実験および論文作成を行う。					